

和泉フィルハーモニカ

代表 中谷 晃

所在地 (練習場) シティプラザ
コミュニティセンター

指導者 中谷 晃

練習日 毎週土曜日(月4回) 13:00～16:30

会員数 18名(女性12名、男性6名)

年齢 平均70歳前半(入会資格60歳以上)

久しぶりにお仲間入りさせていただき、故郷へ帰ったような気持ちです。でも関西ハーモニカ祭り2日目中止になってしまって残念でした。それにつけても役員の皆様、スタッフの皆様、大変だったと思います。本当にお世話になりました。

和泉フィルの“フィル”はギリシャ語で“愛好”の意。団体紹介ということで、私どものちよつと違った点を書かせていただこうと思います。

- 1) 楽譜は五線譜を使っています。
- 2) ハーモニカは現在、複音のC・C#・A・A#・G。男性はその他にバリトンハーモニカを所持。総てメジャーを使っております。
- 3) 今も心に残る名曲のメロディーを楽しく…。
- 4) ハーモニカを同時に2本使用する場合、演奏者の技能、それに限られたハーモニカで演奏する無理があります。そういった無理を少しで

も軽減できればと独自の持ち方をしています。例えば、CとC#を使用する時、C#は右手に、Cは必ず左手に持ちます。

右手は、中指を充分伸ばしてC#の底面に当て、上は拇指で、人差し指はハーモニカの前面を。その3本でしっかり持ち、左を上下して口に持っていくようにし、必要ない時は目立たないように下げておきます。左手は、人差し指をしっかり伸ばして、拇指とでL字形にCを持ち、右端をC#の裏側で軽くにぎった薬指の上に押し込むようにし、拇指の腹とで支えます。

2本のハーモニカをこのように持つことで、違った調のハーモニカでも右左にずらすことによって、#を併用する時と同じ感覚で演奏できます。例えば「荒城の月」をCの低音部で演奏する時、Aを2穴左にずらして併用すれば、Cで出せない7、6をAの2、1で補うことができます。同様に「城ヶ島の雨」のような場合、4本使用を2本で持ち替えることなく演奏できます。

5) 昨年11月、和泉フィルハーモニカ第13回定期演奏会を了えましたが、毎回お出で下さった方々にアンケートを感想を書いていただいています。良かった時も、悪かった時も、それを大きな糧とさせていただいています。

